

校 訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう
学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



薫 陶

学校だより くんとう

3月号 令和6年2月26日

七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小HP QR コード



3月旅立ちの月、心からの感謝を込めて・・・

雨水を過ぎても、まだまだ寒い日が続きます。いよいよ弥生3月、子供たちは旅立ちの月を迎えました。

今年も本校の教育活動に皆様から温かいご理解とご協力をいただきました。挨拶や交通安全指導を通して登下校の安全を見守ってくださったPTAや地域の皆様、読み聞かせや図書館整備をしてくださった皆様、総合的な学習や各教科においてのゲストティーチャー、ボランティアでの環境整備、草刈りにも力を貸してくださった地域の皆様…、たくさんの皆様のおかげで充実した教育活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

残念なことに今年度も熱中症や様々な感染症によって、教育活動が思う通りに進まないこともありました。「できなかったことを数えるのではなく、できたことを数えていこう。その時最大限の努力ができたかどうか大切なのだ。」と自分たちに言い聞かせ、職員一同、歩をすすめてまいりました。今後も地域に根ざし、地域と連携した教育活動を展開しながら、地域に誇りと愛着をもつ児童を育成していきたいと考えております。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



4年ぶりの制限なし開催、感謝の会&6年生を送る会



2月22日(木)には、感謝の会と6年生を送る会が行われました。どちらの行事も一堂に会しての開催は、4年ぶりとなりました。

まずは6年生を中心として、今年度お世話になった方々をお迎えしての「感謝の会」が行われました。教頭先生からの紹介の後、6年生からお一人お一人にお花鉢とささやかなプレゼントをお渡しし、感謝の気持ちを行動で表すことができました。

続けて、6年生を送る会を行いました。5年生が中心になって、プロジェクト委員会を作り、全校に提案し、当日の進行もしてくれました。6年生紹介から始まり、各学年・先生方の出し物を軸に、幕間でのクイズ、プレゼントわたし、最後の退場時には、大きな垂れ幕が切って落とされました。全校のみんながドキドキ・ワクワクし、笑いあり感動の涙ありの素晴らしい会となりました。コロナ禍で全校児童が一堂に会することがなかった3年間でしたが、やはり同じ空間を共有できる「生」の感動というのは、ここまで人の心を揺さぶることができるのだと改めて感じた会でした。6年生にとっても、忘れられない思い出となったことでしょう。

6年生の出し物の中に、「絆」と書かれたコインを5年生に手渡すシーンがありました。6年生から学校を任された5年生は、在校生のリーダーとしての責任を果たしていきます。5年生の皆さん、これからもよろしくお祈りします。そして残り15日間、6年生は卒業式に向けて本腰を入れています。素晴らしい門出の式となるよう、心から応援しています。

